

## 『最初でつまづかない経済学 マクロ編』訂正表

(初版第1～17刷)

(初版第17刷まで)

- 260 ページ： 18 刷で修正予定

「IS-LM曲線とAD曲線」のグラフの吹き出し

誤「実質貨幣供給量が減少しても、利子率はこれ以上下がらないので横滑り状態となる」

正「実質貨幣供給量が増加しても、利子率はこれ以上下がらないので横滑り状態となる」

(初版第16刷まで)

- 185 ページ： 17 刷で修正済み

第1章のまとめの一番下「GDPの帰属計算」

誤「帰属計算に属する：持ち家，農家の自家消費

帰属計算に属しない：主婦の家事労働，遺産・贈与，投資活動による利息・配当金，余暇・環境，自宅で散髪」

正「帰属計算に属する：持ち家，農家の自家消費，投資活動による利息・配当金

帰属計算に属しない：株式取引，主婦の家事労働，遺産・贈与，余暇・環境，自宅で散髪」

(初版第15刷まで)

- 45 ページ： 16 刷で修正済み

「デフレの要因」の12行目

誤「市場に出回っている貨幣の量よりも少ない」→ 正「市場に出回っている貨幣の量よりも多い」

- 368 ページ： 16 刷で修正済み

「為替レートの表記について」の7行目

誤「逆に円高は」→ 正「逆に円安は」

- 175 ページ： 16 刷で修正済み

「例題8」の選択肢4

誤「4 国民所得勘定に含まれる生産活動は，帰属計算の対象を除き，原則として，市場で取引されるものに限られるので，市場で売買されない政府サービス，余暇，環境は国民経済計算には含まれない。」→正「4 国民所得勘定に含まれる生産活動は，帰属計算の対象を除き，原則として，市場で取引されるものに限られるので，余暇，環境は国民経済計算には含まれない。」

(初版第 13 刷まで)

- 164 ページ： 14 刷で修正済み

「解放のステップ」の 9 行目

誤「在庫品増加とは在庫投資を意味します」→正「在庫品増加とは在庫投資の増加を意味します」

- 180 ページ： 14 刷で修正済み

左段 3 行目

誤「工業部門から 15 億円」 → 正「工業部門から 15 兆円」

(初版第 11 刷まで)

- 190 ページ： 12 刷で修正済み

例題 13 の 3 行目

誤「 $C=2.5+0.5Y$ 」 → 正「 $C=2.5+0.5(Y-T)$ 」

- 191 ページ： 12 刷で修正済み

7 行目

誤「 $C=2.5+0.5Y$ 」 → 正「 $C=2.5+0.5(Y-T)$ 」

(初版第 9 刷まで)

- 218 ページ： 10 刷で修正済み

右段「実質マネーサプライ（実質貨幣供給量）」の 16 行目

誤「1,000 円あって」 → 正「総額 10,000 円あって」

同 20 行目

誤「20,000 円になっても」 → 正「総額 20,000 円になっても」

- 305 ページ： 10 刷で修正済み

左段「コブ=ダグラス型生産関数の特徴」の 10 行目

誤「名目国民所得のうち資本に」 → 正「名目国民所得のうち労働に」

(初版第 6 刷まで)

- 365 ページ： 7 刷で修正済み

1 行目

誤「1.× 固定相場制において、財政支出を行っても、景気刺激効果はありません。」

正「1.× 固定相場制において、財政支出を行うと、景気刺激効果があります。」

(初版第4刷まで)

- 286 ページ： 5刷で修正済み

「IS曲線」の8行目

誤「両辺に  $2/10$  を掛けて、」 → 正「両辺に  $10/2$  を掛けて、」

- 366 ページ： 5刷で修正済み

左の段「IS曲線」の8行目

誤「両辺に  $2/10$  を掛けて、」 → 正「両辺に  $10/2$  を掛けて、」

(初版第1刷まで)

- 82 ページ： 2刷で修正済み

「45度線分析って何だろう」の最終行

誤「所得  $Y = \text{消費 } C + \text{貯蓄 } S$ 」 → 正「所得  $Y = \text{消費 } C + \text{貯蓄 } S + \text{税金 } T$ 」

- 90 ページ： 2刷で修正済み

「例題16」の選択肢4

誤「1兆円の政府支出の増加と1兆円の減税は、それぞれGDPを  $1/(1-c)$ ,  $c/(1-c)$  倍だけ増加させる。景気浮上効果はどちらも同じである。」

正「1兆円の政府支出の増加と1兆円の減税は、それぞれGDPを  $c/(1-c)$ ,  $1/(1-c)$  倍だけ増加させる。景気浮上効果は政府支出の増加のほうが大きい。」

- 212 ページ： 2刷で修正済み

右の段「復習しておこう！」の最終行

誤「⇒p. 102」 → 正「⇒p. 65」

- 215 ページ： 2刷で修正済み

「解法のステップ」の選択肢4の解説

誤「貨幣需要量(マネーサプライ)が増大」 → 正「貨幣需要量が増大」

- 226 ページ： 2刷で修正済み

「貨幣需要の利子弾力性について」の2行目の式

誤「貨幣需要の利子弾力性 = 貨幣需要の変化量 / 利子率の変化量」

正「貨幣需要の利子弾力性 = 貨幣需要の 変化(率) / 利子率の 変化(率)」

- 227 ページ： 2刷で修正済み

3行目の式

誤「貨幣需要の利子弾力性 = 国民所得の変化量 / 利子率の変化量」

正「貨幣需要の利子弾力性 = 国民所得の 変化(率) / 利子率の 変化(率)」

● 230 ページ： 2刷で修正済み

「投資の利子弾力性の定義①」の式

誤「投資の利子弾力性＝投資の変化量/利子率の変化量」

正「投資の利子弾力性＝投資の変化（率）/利子率の変化（率）」

● 231 ページ： 2刷で修正済み

「投資の利子弾力性の定義②」の式

誤「投資の利子弾力性＝国民所得の変化量/利子率の変化量」

正「投資の利子弾力性＝国民所得の変化（率）/利子率の変化（率）」

● 260 ページ： 2刷で修正済み

「IS-LM 曲線と AD 曲線」の下のグラフの縦軸

誤「利子率  $r$ 」 → 正「物価  $P$ 」

● 261 ページ： 2刷で修正済み

「解法のステップ」の 12 行目

誤「減少し、LM 曲線が～」 → 正「増加し、LM 曲線が～」

● 266 ページ： 2刷で修正済み

「古典派の労働市場」のグラフ左側の 2 つめの囲み

誤「労働供給量↑」 → 正「労働需要量↑」

● 267 ページ： 2刷で修正済み

「古典派の労働市場の特徴」の 4 行目

誤「～るために労働需要が労働供給を上回り、～」

正「～るために労働需要が労働供給を下回り、～」

● 366 ページ： 2刷で修正済み

「古典派の労働市場」のグラフ左側の 2 つめの囲み

誤「労働供給量↑」 → 正「労働需要量↑」

以上

株式会社 実務教育出版